

クリスチャンライフ学院・シラバス

年度・学期	2024 年度・冬学期	単位	2
科目コード	M24W04		
分野・科目名	霊性の神学 「クリスチャン・メンタリング」		
講義日程	木曜日 1/9・1/16・1/23・1/30・2/6・2/13・2/20・2/27〔・3/6〕		
講師	島田 哲也		

講義の概要	<p>キリスト教の伝統において、人間の回復は、三位一体の神の交わりに迎えられることで始まる。クリスチャン・メンターは、その道程に既におり、続く者がキリストによって「生きる」ために寄り添う人。つまり、クリスチャン・メンタリングとは歴史の中に連綿と続く神の国の働きそのものである。そんなメンターの姿を、主イエスご自身から始めて教会や修道院といったキリスト教界の中枢に尋ね、21世紀を歩む私たちが福音宣教・伝道に関わる際の指針を探る機会としたい。</p>
第1回	<p>メンタリング序論（クリスチャン・メンタリング？） *オリエンテーション、自己紹介（必要に応じて）</p>
第2回	<p>聖書の世界とメンタリング（イエスと弟子たちを中心に）</p>
第3回	<p>弟子たちから次の弟子たちへ1（教会、修道院）</p>
第4回	<p>弟子たちから次の弟子たちへ2（教会、修道院） *課題（1）のクラス内での分かち合い</p>
第5回	<p>人間性の回復（神学と祈り） *エイレナイオス、ベルナルドゥス、etc.</p>
第6回	<p>祈りの生活に寄り添う *テレサ、サレジオ、etc.</p>
第7回	<p>隣人となる（祈りと人間理解） *キルケゴール、ナウエン、etc.</p>
第8回	<p>クリスチャン・メンタリング</p>
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1) メンタリングという概念を掴み、クリスチャンとしてのメンタリングについて理解する。 2) クリスチャン・メンタリングについて聖書的歴史的認識を深める。 3) 教会の歴史中に見られるメンタリングの役割を確認する。 4) これまでの歩みを振り返り、そこにどのような人々からどのような影響を受けてきたか、自分自身の人間形成のストーリーを綴ることで、自己理解を深める。 5) 本コースを通して学んだメンタリングのあり方に照らして、自分自身の行ってきた働きや、関係性を評価し、考察する。

クリスチャンライフ学院・シラバス

【課題】

- (1) **リフレクション1 (自己の形成)**: メンタリングという観点で、これまでの自分の歩みを振り返り、どの様な人たち(そしてその人たちとの関わり)を通して、どの様な影響を受け、現在自身の持つ、人との関わり方の傾向につながってきたか、考察しそれを言語化する。(1200字)
- (2) **リフレクション2 (クリスチャン・メンタリング)**: 本コースで学んだクリスチャン・メンタリングの観点に立ち(必須: コースで用いた参考文献の引用)、これまで自身が持ってきた人との関わり方や、そこに見られる傾向について振り返り、気付きを与えられた点を書き出す。その上で、これからクリスチャン・メンターとして周囲の方々に関わっていくときに大切にしたい(前提とし、心がける必要を覚えている)ことについて明文化する。(2400字)
- (3) **エンゲージメント**: 講義の中で意見を求められたり、上記課題に関するクラス内での分かち合い・質問・議論を交わしたりして、ご自身やクラス全体の理解を深めるプロセスに前向きに関わる。

【成績】

30%: エンゲージメント

30%: リフレクション1 (自己の形成)

40%: リフレクション2 (クリスチャン・メンタリング)

*課題の文字数について: 規定字数の±10%を超えた場合は減点対象とする。

【課題図書】

- ジェームズ・フーストン著、坂野慧吉監修「神との友情: あなたを変える祈り」(いのちのことば社、1999)
- その他、読んで頂きたい各種資料は講義に先立ち配布する。